

(別紙4(2))

事業所名: グループホームふるさとの丘・山鳩の里

作成日: 令和4年3月14日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	職員に災害対策への認識にあいまいさが窺えた。災害時における職員の役割分担を再確認することが望ましい。また、災害時の受け入れ先を明確にし職員へ周知することが望ましい。また、緊急時に持ち出すことが必要な物について職員へ周知し、円滑に持ち出せるような意識づけを図ることが望ましい。	災害時における職員の役割分担を再確認することができる。	・災害時における職員の役割分担を一覧にした表を作り、スタッフルームなどスタッフの目に付くところに掲示する ・毎月の全体会議にて、災害時における職員の役割分担を確認する ・災害訓練の際に、計画書に沿った役割分担で実施して各自の役割を確認する ・運用所不都合な点及び不明瞭な点があれば、計画を改定していく	12ヶ月
2		職員に災害対策への認識にあいまいさが窺えた。災害時における職員の役割分担を再確認することが望ましい。また、災害時の受け入れ先を明確にし職員へ周知することが望ましい。また、緊急時に持ち出すことが必要な物について職員へ周知し、円滑に持ち出せるような意識づけを図ることが望ましい。	緊急時に持ち出すことが必要な物について職員へ周知するとともに、円滑に持ち出せるような意識づけを図ることができる。	・職員への周知や意識づけのために、緊急時に持ち出すことが必要な物品についての一覧表を作成する ・毎月、災害担当者は、一覧表を用いて各ユニットの職員と一緒に持ち出し品の点検を行う(職員は月毎に変わる) ・災害訓練の際に、実際に持ち出してみることで意識づけを図る	12ヶ月
3		職員に災害対策への認識にあいまいさが窺えた。災害時における職員の役割分担を再確認することが望ましい。また、災害時の受け入れ先を明確にし職員へ周知することが望ましい。また、緊急時に持ち出すことが必要な物について職員へ周知し、円滑に持ち出せるような意識づけを図ることが望ましい。	災害時の受け入れ先を明確にし職員へ周知することができる。	・病院や福祉施設など、災害後の利用者の受け入れ先を定めて職員へ周知する	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。